

## あ い さ つ

青 木 村

おはようございます。

本日、令和6年 第1回青木村議会3月定例会を招集いたしましたところ、全議員の皆様方にご出席をいただき、誠にありがとうございます。日頃議員の皆さんには、村政の運営にご理解・ご協力をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

まず、令和6年1月1日 16時6分に発生した能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げるとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。被災された皆様の安全と被災地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

3月1日現在の石川県の被害状況は、死者241人、安否不明者9人、避難者10,223人、住宅被害は76,824棟、断水約18,380戸、停電約570戸となっております。最大時の避難者数は約34,000人、孤立は3,345人でした。

マグニチュード(M) 7.6、最大震度7を観測し、激しい揺れと津波で甚大な被害をもたらした能登半島地震。内陸型の地震としては最大級、二千年に一回レベルの大きな地震だったとの見方もあります。この地震で、能登半島全体が機能不全に陥りました。国や全国の自治体の応援を得て、一部を除き復旧もある程度は進んでおりますが、未だ安否不明や避難所暮らしの方もおられ、生活再建の目途が立たない方も多いとのことであります。私たちは今後も、息の長い支援を行っていく必要があります。

最も被害の大きかった能登半島先端にお住まいの50代の男性の方が、妻と帰省中の娘さんを亡くされ、「何もいない、二人を返してくれたら何もいない。」とテレビカメラの前で涙ながらに語った言葉が胸に刺さりました。

地震発生直後から多くの情報が発信され、新聞でも連日報道されております。その中で、当村でも真剣に考え教訓にしていかなければならないことがたくさんあります。気になった新聞の見出しで主なものを挙げてみますと、

## (能登半島地震 主な新聞の見出し)

1/4	迫る72時間 安否確認続く 能登半島地震、全容見えず
1/5	死者94人 安否不明222人
1/7	発生124時間 90代女性救出
1/8	2,300人孤立
1/18	進まぬ復旧 愛する地離れ難く
1/18	集団避難 帰れるのはいつ 輪島の中学生258人
1/26	犠牲者9割 家屋倒壊で 古い木造多く
1/26	高齢化で耐震工事進まず
1/27	在宅避難者 把握遅れ 支援行き届かぬ恐れ
1/31	物資受入れや孤立集落支援
1/31	県内防災 「能登」教訓に

## (その他 参考)

被災地孤立 懸念7割超 「共助困難」9割 大規模地震で (知事アンケート)
過疎地の脆弱インフラ 家屋耐震化遅れ (知事アンケート)
能登ひとつとではない (知事アンケート)
2000年に一度の激震か
複数の断層 連動した可能性
災害とSNS デマ拡散 加担しないため
生活再建支援 借り上げ住宅の活用を急げ
72時間経過 安否不明178人
足りぬ 届かぬ 奥能登
交通網大打撃 「陸の孤島化」
過ぎる時間 孫たちよ 多くの親族が不明 無事祈る祖母
M7級 想定できたはず
消防援助隊半数 72時間後に 道路寸断 大型車足止め
陸路や通信寸断 救助の遅れ深刻 下敷き100件か
安否不明なお増 薄い支援 把握ペース「最悪」の声
再建へ長期支援を
壊れた家 形見だけは 亡き娘からの時計探した父
トイレの衛生環境「限界」 水不足 道路寸断で配備遅れ
長引く断水、衛生管理に壁

近年、日本では大きな自然災害が頻発しています。寺田寅彦の警句「天災は忘れた頃にやってくる」は、過去の言葉となってしまいました。

(例)

2011（平成23）年3月	東日本大震災
2016（平成28）年4月	熊本地震
2019（令和元）年10月	令和元年東日本台風（台風第19号）
2024（令和6）年1月	能登半島地震

また、世界的に見ても多くの大災害や紛争、感染症の拡大などが毎年のように起こり、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。

(例)

2020（令和2）年2月～	新型コロナウイルス感染症パンデミック
2022（令和4）年2月～	ロシアのウクライナ侵攻
2023（令和5）年10月～	イスラエル・ガザ侵攻

今私たちは、少なくとも大きな自然災害は必ず数年おきに起こることを前提として、青木村の行政をしっかりと確実に実施していかなければならないと強く思っております。

能登半島地震から私たちが今すぐ学ぶべき事項はたくさんあります。議会や消防団、各区、そして村民の皆さんと検討し、全体としてスピードを速めながらできることから実施してまいります。

令和元年東日本台風の反省から、公助のみでなく自助・共助の必要性を村民の皆さんと共有し、改善・変更すべき点は実施してきたところではありますが、今回の地震を受けて、総括や検証が国や関係機関で行われると思いますので、今後それらを参考にし、青木村の安全・安心に努めてまいります。

次に、公共交通についてですが、令和6（2024）年4月より、バス運転者の労働時間等改善のため、青木線の平日夕方から夜間にかけての上田発4便の減便が、千曲バス株式会社から提示されました。

青木線は日常、学生や高齢者の皆さんの通学・通院の足として、必要不可欠な生

命線であります。青木村地域公共交通会議のご了解をいただき、村営バスの路線に上田駅から青木バスターミナルまでの夜間往復の路線を新たに追加して、4月1日から運行を開始することといたしました。

以前から、JRなど地方鉄道の廃止や減便が大きな社会問題となっております。その主たる原因は、収支バランスが取れず経営が成り立たないことであり、更には慢性的な運転手不足という問題があります。このままですと千曲バス青木線も、同様の経過をたどる可能性があります。今後、青木線存続のため「バスに乗ろう」を合言葉にして、村民の皆さんにぜひご協力をいただきたいと思います。

次に、今議会予算の保健衛生総務費の中で、鹿教湯病院運営費補助金として540万円を計上いたしました。

上田市鹿教湯温泉に位置する鹿教湯三才山リハビリテーションセンターは、昭和31年開設の鹿教湯病院と平成元年開設の三才山病院が、平成19年4月に経営統合し鹿教湯三才山リハビリテーションセンターとし、リハビリテーションを中心に多様なニーズに対応した医療・介護サービスの提供を行っております。

しかしながら、施設の老朽化等の様々な課題を抱えていたことから、三才山病院を閉院し、鹿教湯病院の既存施設を活用する大規模改築を実施し病院機能の一元化が図られることになりました。

大規模改築に係る経費については、自己資金、国庫補助金、借入金等の他に上田地域医療の確保と充実を図るためとして、管内の市町村等に対して財政支援の要望が出されました。

具体的には、総事業費69億9,200万円のうち、市町村ごとの利用者割合に応じた支援額として、青木村に2,700万円の支援要望でございました。

青木村にとって鹿教湯三才山リハビリテーションセンターは、多くの村民が、診察や人間ドック等の健康診断に長年に渡り利用してきたこと、また、コロナ禍においては、令和3年度から始まった集団接種の体制をいち早く整えて、延べ49回集団接種を担ってもらい、多くの村民の健康と命を守っていただいた経緯があること等から、他の市町村と同様にこの依頼を受けることとして、令和6年度から5年間に分けて支援を行いたいと思います。

また、青木村から鹿教湯三才山リハビリテーションセンターまでは、上田市内の医療機関とほぼ同等の距離にあり、病院の大規模改築等により設備が充実すること

等から、今後も利用者が増大することが予想されます。引き続き、主要地方道丸子信州新線の道路改良の促進を今後も県に要望してまいります。

2月21日に公表された内閣府「月例経済白書」によりますと、2月は『景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。』とのことでありました。

さて、今回の予算（案）の重点項目について申し上げます。

### 1. 学校給食費の無償化について

議員の皆さんとの個別懇談の中で、全員の皆さんから強いご要望をいただきました小・中学校の給食費の無償化について、令和2年度から4年度までは、コロナ対策として国から交付された地方創生臨時交付金を財源として充て実施してまいりましたことから、保護者や教育委員の皆さんからも強い要請をいただいております。

給食費無償化は、保護者の経済的・時間的負担の軽減はもとより、子育て支援、少子化対策、定住・転入の促進など多くの効果があります。また、様々な経験を通じて、食に対する心構えや栄養学、伝統的な食文化について学ぶ「食育」の観点からも、学校給食の果たす役割は大きいと考えております。

実施にあたっては毎年2千万円余の財源が必要であり、村単独費で継続することは財政面の硬直化が懸念されますが、幸い企業誘致により、来年度以降の税収の伸びが期待できますことから、他の要望に優先して、引き続き無償化を実施してまいります。

これまでの4年間は毎年の予算編成の中で無料としてきましたが、今後は制度として無償としてまいります。

### 2. 情報ネットワーク等高機能化促進事業の推進について

次に、村の情報ネットワーク等高機能化促進事業についてですが、現在のサービスは平成23年4月に供用を開始し、この3月で丸13年となります。機器等の老朽化によりまして更新に向けて事業を開始しております。

情報電話のサービスは、旧有線のデジタル化に伴い、各地区のテレビ共聴組合の地上デジタル化にあわせて、村が直営で運営を引き継いできました。情報電話による朝・昼・晩の定時放送は、青木村民の生活に根付き、文化になっておりま

す。また、緊急時や災害時の情報伝達手段としての重要性も、今回の能登半島地震で改めて実感したところでもあります。

今回の更新は、村民の皆さんへ、いち早く、確実に、誰一人取り残さないシステムの高度化を目指すものです。運営を村から専門の事業者へと変更し、より質の高いサービスを持続可能なかたちで提供していくこととなります。

プロポーザル方式での審査の結果、上田ケーブルビジョンの企画提案を採用し、策定された更新案に基づき、2月7日から2月26日まで12地区及び役場にて、村民の皆さんとの懇談会を行いました。13会場275名の皆さんにご参加をいただき、前向きなご意見を多くいただきました。

今後それらのご意見を整理し、質の高いサービスを長期的にご提供できるよう、最終的な更新の内容を決定してまいります。また、より有利な財源の確保に努めてまいります。

### 3. 道の駅あおきオンラインショップ開設について

道の駅を主体として、青木村の農産物を中心に、あおきブランドを応援していただける方の拡大、創出を目指すため、インターネットショッピングモールを立ち上げ、販売とPRの強化を図り、売り上げの増だけではなく、ふるさと納税の促進にも、活用できるよう、事業を進めます。

### 4. 5年水張り問題対策について

いわゆる国の「5年に1度の水張りルール」を受けて、令和6年度から令和8年度の3年間に、水田活用の直接支払交付金を受給するために1か月の湛水を1筆でも多くの水田で実施していただけるよう、水張りに必要な畦塗機、水中ポンプ、発電機などを村農業支援センターで購入し、担い手農業者へ貸し出します。

### 5. 舗装工事の実施について

田沢温泉旅館街内にある村道湯の入線について、石畳道路の走行音に対する多くの改善要望をいただいているため、舗装改良工事を実施します。

### 6. 電動アシスト自転車レンタル事業の開始について

村内の観光地、名勝景勝地をめぐる手段の一つとして、電動アシスト自転車を導

入します。私自身京都を訪れる機会があり、電動アシスト自転車の利便性を経験してきました。インバウンドでの利用が多いことも目の当たりにしてきました。デマンド交通に加え、山間地の多い当村においても活用できると思います。

4月以降、長野大学の学生や、道の駅連絡協議会とも連携しながら、具体的な利用方法や観光ポイント・おすすめコースの設定など、事業を進めてまいります。

#### 7. カンガルー教室の拡充について

発達に心配のあるお子さんを持つ保護者へのフォローとして、障がいをお持ちのお子さんの療育に実績がある「NPO法人たんと。」に委託して、カンガルー教室の拡充をしてまいります。

1歳6か月、2歳、3歳児健診でフォローが必要とされたお子さんの、遊びの経験を増やし発達を伸ばすことを目的とします。

#### 8. 小学校トイレの洋式化について

小学校の便器の洋式化について、令和4年度に校舎内の排水幹線改修工事を行い、排水がスムーズにできるようになったことで、昨年度からトイレの洋式化を計画的に実施しております。

家庭でも洋式のトイレが多いことから保護者や子どもたちにも好評です。

#### 9. 図書館設備の改善について

図書館は、建設後20年余が経過し、様々な設備に老朽化による支障箇所が発生している状況です。中でも空調設備に故障があり、また全体的に館内が暗いというご意見をいただいています。

図書館内の温度管理と照度管理は、図書館運営の中でも重要な要素であり、空調設備の更新及び照明設備のLED化工事を実施します。

#### 10. 水道管の布設替工事について

簡易水道施設等整備10か年計画に基づき、水道水源の安定的な確保を行なうため、また耐震対策として、導水管布設替え工事ならびに送水管布設替え工事を進めてまいります。

更新後の管路は耐震管となり、地震等の災害に強い管となります。令和6年度は、

殿戸地区と深山地区の水源から配水池までの導水管と呼ばれる管路、それぞれ約1,000mの更新と当郷岡石地区にあります送水管約400mの更新をいたします。

次に、上田地域広域連合の主な業務の内容や、当面の課題や現状についてご報告いたします。

#### 資源循環型施設建設について

令和2年に着手した環境影響評価につきましては、現在4つの手続きのうち3つ目の準備書の手続きを進めております。準備書は、資源循環型施設の工事中及び稼働後の環境保全対策を検討し、施設の安全・安心に対して科学的根拠を示すものであります。今後は、公告・総覧及び住民説明会を開催して、令和6年度中には、環境影響評価のすべての手続きを完了させる見込みです。

周辺整備事業については、ワークショップやアンケートなどの結果を反映しながら内容の検討を進めております。地元住民の皆さまとは、資源循環型施設整備協議会を定期的で開催するなど話し合いを進めているところです。

管内のクリーンセンターは、いずれも老朽化しております。重要なインフラである資源循環型施設の早期建設に向け取り組んでまいります。

#### 地域医療対策について

4月1日より施行される「医師の働き方改革」や医師の高齢化、医療従事者不足の顕在化などの影響により、病院群輪番制の維持が大変懸念される状況にあります。輪番制を含めた二次救急医療体制を見直し、あるべき姿の構築に向けて、関係機関との協議を鋭意進めております。

ふるさと基金を活用した地域医療対策事業では、信州上田医療センターへの財政支援について、初期研修医と看護師に係る医療従事者確保事業の対象として、二次救急医療体制の強化を図ってまいります。

また、これまでの病院群輪番制に関する補助事業に、救急医療従事者確保事業を新たに加え、更に上田市医師会が運営する上田看護専門学校の学生に対する看護師修学資金支援についても、事業を拡大して実施してまいります。

#### クリーンセンター（上田、丸子、東部）について

分別の徹底とリサイクルの推進に努め、令和5年は搬入ごみを1,540トン削減す

ることができました。

### 斎場（大星、依田窪）について

今後、団塊ジュニア世代の高齢化に伴い、2040年には高齢者人口がピークを迎えると予想されております。利用者ニーズの把握に努め、人生の最後の別れを良いものにするため、質の高いサービスの提供に努めてまいります。

### 広域消防について

救急・救助業務について申し上げます。

令和5年中の救急出動件数が11,706件と、前年に続き過去最多となりました。10年前の平成25年と比較いたしますと、約2,500件増加しております。救助業務につきましても108件と、前年と比較して19件の増加、このうち交通救助件数が16件増加の42件と増加しております。

### 火災予防について

令和5年中の火災件数は64件で、前年と比較し12件の減少となりました。

続いて、先の12月定例議会閉会後から本日までの、主な行政報告をさせていただきます。

1月2日(月)に「青木村成人式」を挙行し、二十歳となる皆さんのお祝いをしました。対象者31名(男性14名、女性17名)のうち、29名の方が参加されました。

式典では、お世話になった先生方や来賓の皆さんからご祝辞をいただき、新成人の代表からは、家族やふるさとへの感謝、新たな決意が述べられました。式典終了後は関係者で交流会が開催され、落ち着いた和やかな雰囲気の中、恩師やクラスメートとの久しぶりの再会を喜び合いました。

1月7日(日)、「青木村消防出初式」が盛大に挙行されました。

晴天の下堂々と、あおきっ子消防応援団の皆さんと一緒に分列行進が行われました。式典では団員や退団者の皆さんへの表彰等が行われ、消防団の存在が大変頼もしく感じられた、立派な出初式でした。

2月17日(土)、「小宮山克子氏の交通栄誉章『緑十字金賞』受章をお祝いする会」が上田市内で開催されました。

小宮山克子さんは、平成6年から上田交通安全協会青木部会の女性部長を務められ、平成24年からは本会の女性部長を10年間、令和2年からは県安協女性部長を歴任されるなど、多年にわたり交通事故防止と交通秩序の確立に貢献されました。緑十字金章の受章は、上田安協で6人目、うち女性としては2人目となります。

3月5日(火)、「長野県消防防災航空隊殉職者七周年追悼式」が松本平広域公園の慰霊碑の前で行われ、上田地域広域連合から派遣されこの事故で亡くなられた甲田道昭隊員の御霊に、深甚なる敬意と感謝の誠をささげ、ご冥福をお祈りしてまいりました。

甲田隊員には、ふるさと公園あおきのへりポートを設置する際、大変お世話になっております。

さて、今議会に提案しております主な議案についてであります。

まず、議案第3号の青木村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について、申し上げます。

会計年度任用職員の給与等に関する条例改正については、会計年度任用職員制度創設時から、期末手当は支給されてきたところですが、勤勉手当については、今般、地方自治法が改正され、併せて、勤勉手当を適切に支給すべきものとする総務省通知を受け、会計年度任用職員に対して勤勉手当を支給するため、また、期末手当同様に勤勉手当の支給対象に育児休業をしている会計年度任用職員を含めるため、関係条例を改正するものです。

議案第9号の青木村介護保険条例の一部を改正する条例については、令和6年度から令和8年までの次期介護保険計画期間における介護保険料の額を、介護給付費の増加等に対応するため、現状の月額6,000円から340円増の6,340円に改定しようとするものです。

次に今年度の主な事業の進捗状況について申し上げます。

**総務企画課関係**

- ① 企業人材派遣制度派遣事業（東急株式会社より）・・・・・・・・・・達成
- ② Aoki Free Wi-Fi 機器等更新事業・・・・・・・・・・達成
- ③ 長野県議会議員選挙費・・・・・・・・・・達成
- ④ 消防団出動新システム（アプリ）導入補助金・・・・・・・・・・達成
- ⑤ 地方創生臨時交付金事業（生活応援券配布事業）・・・・・・・・・・達成
- ⑥ 下奈良本消防庫新設工事・・・・・・・・・・達成
- ⑦ 電動付自転車購入事業（村内観光地を巡る周遊）・・・・・・・・3月達成見込

**税務会計課関係**

- ① 地方税共通納税システム保守・・・・・・・・・・達成
- ② 固定資産課税客体調査及び基礎資料整備業務・・・・・・・・・・達成

**建設農林課関係**

- ① 柿ノ木水路改良工事（4年度繰越事業）・・・・・・・・・・達成
- ② 当郷国道北3号線・6号線道路改良関連工事（4年度繰越事業）・・・・・・・・達成
- ③ 橋梁補修設計事業（4年度繰越事業）・・・・・・・・・・達成
- ④ 当郷国道北5号線舗装修繕工事・・・・・・・・・・達成
- ⑤ 新規就農者育成総合対策交付金・・・・・・・・・・達成
- ⑥ ライフライン等保全対策事業（支障木伐倒事業）・・・・・・・・・・達成
- ⑦ 生産調整推進協力タチアカネ補助金・・・・・・・・・・3月達成見込
- ⑧ 村松国道北2号線道路改良工事・・・・・・・・・・翌年度繰越
- ⑨ 災害復旧費（青木の森1号線）・・・・・・・・・・翌年度繰越

**商工観光移住課関係**

- ① 青木村老朽空き家等解体事業補助金・・・・・・・・・・達成
- ② 田沢ふれあい温泉センター補助金・・・・・・・・・・達成
- ③ 令和5年度青木村地域消費券事業・・・・・・・・・・3月達成見込
- ④ 大法寺第2駐車場トイレ改修工事・・・・・・・・・・3月達成見込
- ⑤ 道の駅トイレ改修工事・・・・・・・・・・3月達成見込

**住民福祉課関係**

- ① 介護保険・老人保健福祉計画策定業務・・・・・・・・・・達成
- ② 乳幼児・児童医療給付金（18歳までの医療費窓口負担無償化）・・・・・・・・達成
- ③ 母子父子家庭医療給付金（保護者窓口負担無償化）・・・・・・・・達成
- ④ 出産・子育て応援交付金・・・・・・・・・・達成
- ⑤ 低所得子育て世帯生活支援特別給付金（子1人5万円）・・・・・・・・達成
- ⑥ 地方創生臨時交付金事業（価格高騰重点支援金 住民税非課税世帯3万円）達成
- ⑦ 県費補助事業価格高騰特別対策支援金（住民税所得割非課税世帯2万円）・・・達成
- ⑧ 県費補助事業子育て世帯支援特別給付金（住民税所得割非課税子1人3万円）達成
- ⑨ 新型コロナウイルス予防接種事業・・・・・・・・・・達成
- ⑩ 地方創生臨時交付金事業（価格高騰重点支援金 住民税非課税世帯7万円）3月達成見込

**教育委員会関係**

- ① 文化会館空調設備設置工事（4年度繰越事業）・・・・・・・・・・達成
- ② 図書館駐車場造成工事（4年度繰越事業）・・・・・・・・・・達成
- ③ 照明LED化工事（保育園、小学校体育館、村武道館）・・・・・・・・達成
- ④ 小学校トイレ様式化工事・・・・・・・・・・達成
- ⑤ 図書館空調・照明設備更新調査設計業務・・・・・・・・・・達成
- ⑥ 英語検定受験料補助金・・・・・・・・・・達成
- ⑦ 沓掛野生里芋公園排水処理工事・・・・・・・・・・3月達成見込

**簡易水道事業関係**

- ① 滝川浄水場設備機器更新工事・・・・・・・・・・3月達成見込
- ② 西洞配水池計装機器更新工事・・・・・・・・・・3月達成見込

**特定環境保全公共下水道事業関係**

- ① 浄化センター内機器改修工事・・・・・・・・・・達成
- ② 当郷第1、第2マンホールポンプ改修工事・・・・・・・・・・3月達成見込

## 令和6年2月専決補正予算（令和6年2年1日付専決処分）の概要について

次に、令和6年2月専決補正予算（第6号補正）の概要について申し上げます。  
 歳入歳出それぞれ3,250万4千円を追加し総額を34億1,581万1千円とします。  
 早急な対応を必要としたため、専決させていただきました。  
 令和6年2月専決補正予算における一般会計の主な事業は次のとおりです。

## 歳入

	目	説明	計上額
①	総務費国庫補助金	地方創生臨時交付金（低所得世帯支援分）	3,250万4千円増

## 歳出

	目	節	説明	計上額
①	均等割課税世帯支援金	負担金補助及び交付金	住民税均等割課税世帯10万円	1,500万 千円増
②	新非課税世帯支援金	〃	令和6年度新たに住民税非課税世帯となった世帯10万円	350万 千円増
③	新均等割課税世帯支援金	〃	令和6年度新たに住民税均等割課税世帯となった世帯10万円	150万 千円増
④	定額減税支援金	〃	定額減税額が税額を上回る納税義務者への支援金	291万 千円増
⑤	こども加算支援金	〃	上記①～③のいずれかに該当する子育て世帯に対し、子1人5万円	650万 千円増

## 令和5年一般会計補正予算（第7号補正）の概要について

次に、令和5年度一般会計補正予算（第7号補正）について申し上げます。  
 歳入歳出それぞれ190万3千円を追加し、総額を34億1,771万4千円とします。  
 各事業の確定等に伴う予算の増減等について計上しました。  
 令和6年3月補正予算における一般会計の主な事業は次のとおりです。

## 歳入

	目	説明	計上額
①	地方交付税	普通交付税	198万2千円増
②	総務費国庫補助金	社会保障・税番号システム整備費補助金	289万6千円増
③	〃	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）	300万 千円減
④	民生費県補助金	乳幼児・児童医療費給付補助金 母子父子家庭医療費給付補助金	169万 千円増
⑤	農林水産業費県補助金	新規就農者育成総合対策（経営開始資金：経営発展支援事業）	172万6千円増
⑥	民生費寄付金	福祉事業寄付金（故 山本 哲様より）	100万 千円増

## 歳出

	目	節	説明	計上額
①	一般管理費	負担金補助及び交付金	能登半島地震への公費義援金（県町村会へ）	25万 千円増
②	地方創生プロジェクト事業費	委託料	五島慶太ゆかりの地看板作成、ショッピングサイト委託料	380万 千円減
③	〃	備品購入費	電動付自転車購入費（村内観光地周遊用）	110万 千円増
④	社会福祉総務費	積立金	福祉事業基金積立金（故 山本 哲様ご寄付による）	100万 千円増
⑤	児童措置費	扶助費	乳幼児・児童医療給付費（医療費無償化）	354万1千円増
⑥	母子父子福祉費	扶助費	母子父子家庭医療給付費（医療費無償化）	56万2千円増
⑦	農業振興費	負担金補助及び交付金	生産調整推進協力タチアカネ補助 産地交付金そば減額補てん分、5年水張り経費補助	274万9千円増

⑧	〃	〃	新規就農者育成総合対策交付金 施設整備費補助（かんすい設備、ラジ コン動噴）	172万7千円増
⑨	畜産業費	備品購入費	繁殖和牛・乳用育成牛購入費	125万 千円減
⑩	住宅管理費	需用費	村営住宅修繕料	165万 千円増
⑪	災害対策費	需用費	災害時用として非常食等の備蓄品を購 入します	188万4千円増
⑫	体育施設費	工事請負費	武道館照明LED化工事費確定による	137万4千円減

### 令和6年度予算（当初）

さて、今議会では令和6年度予算を審議いただくことになっています。

一般会計予算は、30億6,700万円。前年度比1億8,000万円増となりました。

第6次青木村長期振興計画「明るい！優しい！あったかい！笑顔あふれる青木村～人と自然と産業が融和した豊かな郷～」の3年目となります。6分野並びに6つの重点プロジェクトの達成に向けて取り組めます。

### 令和6年度当初予算案の概要について

一般会計	30億6,700万	円	（前年度比1億8,000万円	6.2%増）
特別会計	12億2,119万9千円		（前年度比	△140万円 0.1%減）
公営企業会計	7億1,749万8千円		（前年度比	8,555万円 11.9%増）

### 一般会計の主な事業について

	事業名	予算額（千円）	事業内容
	総務企画課		
①	1.1.1 議会費 政務活動費	960	議員活動に対して、政務活動費を交付します 月額8,000円×12ヶ月×10名
②	2.1.5 財産管理費 自治体システム標準化に伴うシ ステム改修（新規）	23,364	住基や税等のシステムを、国が進めている標 準化に対応します

③	2.1.6 企画費 企業人材派遣制度派遣事業（2年目）	6,000	地域活性化を図るため首都圏の企業から人材を派遣してもらいます
④	2.1.9 地方創生プロジェクト事業費 ショッピングサイトの立上げ (新規)	1,100	インターネットによるショッピングサイトを立上げます（道の駅あおき等）
⑤	2.1.9 地方創生プロジェクト事業費 五島慶太伝記創刊事業 (新規)	2,750	五島慶太の伝記創刊に係る経費を計上しました
⑥	2.1.9 地方創生プロジェクト事業費 案内看板設置工事 (新規)	3,850	五島慶太ゆかりの地として、村内に案内看板を設置します
⑦	2.1.10 地方創生臨時交付金事業	25,772	小・中学校の給食費の無償化に係る経費を計上しました
⑧	2.6.1 統計調査費 2025 農林業センサス統計調査 (新規)	1,140	5年ごと実施される、農林業センサス統計調査に係る費用を計上しました
⑨	8.1.2 非常備消防費 消防団出動支援システム導入補助	990	消防団が導入しているスマートフォン連絡用アプリの費用を補助します
⑩	8.1.5 災害対策費 災害対策備品購入	1,000	災害時用として非常食等の備蓄品を購入します（予算増額）
税務会計課			
①	2.1.4 会計管理費 公金取扱手数料 (新規)	1,074	内国為替制度運営費（公金取扱手数料の有料化）に係る経費を計上しました
②	2.3.2 賦課徴収費 システムデータ移行、クラウドサービス事業（新規）	3,322	固定資産税の地図情報をクラウド化します
建設農林課			

①	5.1.1 農業委員会費 農地台帳データ更新事業 (新規)	792	国のシステムへの移行に向けて、台帳のデータを更新します
②	5.1.3 農業振興費 5年水張りルール対策事業費 (新規)	2,048	5年水張りルール対策に係る経費を計上しました(畔塗り機、水中ポンプ、発電機等の購入)
③	5.1.3 農業振興費 生産調整推進協力タチアカネ補助事業	6,000	産地交付金そば減額補てん分、5年水張り経費補助
④	5.1.3 農業振興費 新規就農者育成総合対策交付金	1,500	認定新規就農者に対し経営開始資金を補助します 定額150万円
⑤	5.1.3 農業振興費 環境保全型農業直接支払交付金	312	有機農業に取り組む組織への補助 10a当たり1万2千円
⑥	5.1.5 農地費 土地改良事業補助金	1,020	農業用水路等の改修に対する補助(5年水張りルール対策のため予算増額) 補助率60%
⑦	5.2.2 林業振興費 ライフライン等保全対策事業	2,500	電線等の倒木による断線を防ぐため、危険木を予め伐採します
⑧	5.2.2 林業振興費 抵抗性アカマツ植樹事業 (新規)	500	松くい虫伐倒燻蒸跡地に抵抗性アカマツを植樹し森林を再生します
⑨	7.2.1 道路維持費 除雪機購入補助金	350	区が購入する除雪機代金の補助をします 補助率70%
⑩	7.2.2 道路新設改良費 村道 当郷国道北5号線舗装修繕工事 (新規)	8,000	国道143号と村松地区を結ぶ村道の舗装の打替え工事を行います
⑪	7.2.2 道路新設改良費 村道 福祉会館1号線道路改良工事 (新規)	10,000	武道館から中挾区内を結ぶ村道の道路拡幅工事を行います

⑫	7.2.2 道路新設改良費 村道 湯の入線舗装改良工事 (新規)	15,000	田沢温泉内村道の舗装の打替え工事を行います
⑬	7.2.3 橋梁維持費 橋梁補修設計	4,500	補修が必要な橋梁(3橋)の補修設計を行います(補修工事は令和7年度)
商工観光移住課			
①	6.1.2 商工業振興費 地域消費券事業補助金	3,000	地域消費券の割引分を地域消費券加盟店会へ補助します
②	6.1.3 観光費 トレッキングコース整備事業 (新規)	2,000	十観山の登山道を整備する経費を計上しました
③	6.1.3 観光費 電動付自転車レンタル事業 (新規)	—	村内観光地を巡る周遊用として電動付自転車のレンタルを始めます
④	6.1.6 道の駅関連施設運営費 道の駅関連施設工事 (新規)	4,740	直売所の防犯カメラの増設工事を行います
⑤	7.3.2 住宅建設費 空き家解体工事補助金	2,000	空き家の解体に係る費用を補助します 上限20万円×10戸(予算増額)
住民福祉課			
①	2.4.2 マイナンバーカード交付事務費	667	マイナンバーカードの普及を促進します
②	2.4.3 証明書コンビニ交付事業費	2,336	コンビニエンスストアでの証明書交付事業を促進します
③	3.1.7 地域少子化対策強化事業費 結婚新生活支援事業 (新規)	900	結婚に伴う引越し費用、リフォーム費用を補助します
④	3.2.1 児童福祉総務費 児童手当制度改正システム改修	1,928	児童手当制度改正に伴うシステム改修に係る経費を計上しました

	(新規)		
⑤	4.1.1 保健衛生総務費 子育て支援事業	55	ペアレントトレーニング（保護者向けの子育て講座と保護者同士の交流）に係る経費を計上しました
⑥	4.1.1 保健衛生総務費 子育て支援事業	132	カンガルー教室（発達に心配のある親子の遊びの教室）に係る経費を計上しました
	(新規)		
⑦	4.1.1 保健衛生総務費 アピアランスケア補助金	1	がん治療に伴う医療用補正具の購入費用を補助します（頭出し）
	(新規)		
⑧	4.1.1 保健衛生総務費 鹿教湯病院運営費補助事業	5,400	鹿教湯病院改築費を補助します（令和10年度まで、計27,000千円）
	(新規)		
教育委員会			
①	3.2.5 児童福祉施設費 照明LED化工事	968	児童センター内の照明設備のLED化工事を実施します
	(新規)		
②	9.1.3 教育指導費 英語検定受験料補助金	300	英語検定受験料を補助します
③	9.1.3 教育指導費 オンライン通信費補助（扶助費）	700	準要保護就学援助費及び特別支援就学奨励費にオンライン通信費を追加します
	(新規)		
④	9.2.1 小学校費 小学校トイレ改修事業	6,160	校舎トイレ便器の洋式化を進めます
⑤	9.4.4 文化財保護費 指定文化財保護補助	544	中挾区豊受神社改修工事補助金を計上しました
	(新規)		
⑥	9.4.7 図書館費 空調・照明設備更新工事	25,300	空調設備の更新、照明設備のLED化工事を実施します
	(新規)		

⑦	9.4.10 五島慶太未来創造館費 展示品作成委託	1,595	企画展に係る展示品作成委託費を計上しました(縄文・弥生展、一石路展、小林一三展)
⑧	9.5.2 体育施設費 照明LED化事業 (新規)	43,442	総合グラウンド、テニスコートの照明をLED化します
公営企業会計			
①	(簡易水道事業) 導水管布設替工事実施設計	16,896	導水管布設替に伴う実施設計を行います(弘法地区、中村地区)
②	(簡易水道事業) 導水管布設替工事 (新規)	74,394	導水管の耐震化布設替工事を行います(深山地区、殿戸地区)
③	(簡易水道事業) 送水管布設替工事 (新規)	68,469	送水管の耐震化布設替工事を行います(当郷区岡石地区)
④	(特定環境保全公共下水道事業) 全体計画・事業計画変更業務委託事業 (新規)	4,290	全体計画・事業計画の更新を行います
⑤	(特定環境保全公共下水道事業) 浄化センター汚泥脱水機改修工事 (新規)	6,380	汚泥脱水機の改修工事を行います

以上、提案しました議案のうち主な内容を説明させていただきました。  
詳細につきましては、教育長並びに担当課長からご説明致しますので、ご審議の上、ご議決いただきますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。